

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		交通安全推進事業費[高齢者運転免許証自主返納支援事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 9	公安費	事業番号 2	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	土木		課		交通安全対策	係	課長名 寺島 由紀夫	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 4	
【施策名】 道路・交通の整備						総合計画書(ページ)	89	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 65歳以上で運転免許証を保有する市民			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 65歳以上で、運転免許証を保有する市民の人数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 運転免許証を自主返納してもらうことで、高齢者の運転による交通事故の減少を図り、公共交通の利用を促す。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 65歳以上で運転免許証を自主返納した300人の市民に、ちよこバス回数乗車券を1冊ずつ交付した。				
	③ そのために何をしましたか。 ①市報への掲載 ②チラシの配付 ③ホームページへの掲載 ④コミュニティビジョンの放映			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①平成31年度中の市報に4回掲載 ②市の公共施設、東大和警察署等に配布 ③令和1年7月1日新規掲載 ④令和元年9月1日～9月15日の期間放映				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	人			—		
	成果指標	②の数値	人			300		
	目標	②の目標値 目標値設定の考え方 運転免許証を自主返納した65歳以上でちよこバス回数乗車券の交付を希望する市民						
	活動指標	③の数値	人			300		
3 経費	事業費(実績)		円			800,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円			800,000		
		特定財源	円			0		
		(うち受益者負担)	円			0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間			90		
		所要人数(再任用)	時間			0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円			387,000		
	職員人件費(再任用)	円			0			
事業費+人件費		円	0	0	1,187,000			
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成31年度					
	(2) 環境の変化		高齢者の運転による交通事故が増加傾向にあることから、交通事故の減少を図り、かつ、公共交通の利用を促すため、運転免許証の自主返納を支援する事業を開始した。					

事業名称	交通安全推進事業費[高齢者運転免許証自主返納支援事業]			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 「ちょこバスの回数乗車券を買っても、自分が住む地域にはちょこバスが走っていない。」、「ちょこバスの回数乗車券だけでなく、多くの特典があるとよい。」などの要望等があった。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報・チラシ・ホームページ・コミュニティビジョン）		
<input type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 令和元年7月から初めて実施したものであり、運転免許証返納者で申請があった市民の集計をわかりやすくデータ化する必要があった。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 エクセルで集計表を作成し、二度の申請が無いよう検索機能も取り入れ、適切に管理した。 また、ちょこバス回数乗車券の管理方法を確立した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ちょこバス回数乗車券の購入は、少しずつ行わないと、年度の最後に残ってしまい、回数乗車券の購入枚数と返納者の数に違いが出てしまったため、適切な枚数を購入していく必要がある。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 道路・交通の整備 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 自動車を運転する高齢者は今後も増加し、高齢ドライバーが関与する交通事故も増加傾向にあることから、交通事故の減少を図るために、引き続き、高齢者の運転免許証の自主返納を促す情報提供を行っていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・ちょこバスの運行空白地域に在住する運転免許証を自主返納した65歳以上の市民への支援内容の検討 ・ちょこバス回数乗車券の使用見込みをにらんだ枚数の購入			